

ダイジェスト版

私たちFFGは
「地域に真のゆたかさ」を実現するため、
様々な分野での地方創生に取り組んでいます。
地域と人と企業を結ぶFFGならではの視点で、
地域の魅力とそれを支える人々のストーリーを
紹介していきます。

地域と銀行、つながるバトン。

昨日から今日、今日から明日。

私たちは、バトンのように日々を送る。

そこに、誰かの「こうしたい！」が加われば。

日々は生き生きと色彩を持ち始める。

地域を変える活力も、初めは小さな願いから。

地域と銀行がバトンで繋がったとき、新しい物語が、始まります。

地元企業と一緒に風堂がコラボ。 宗像特産の甘夏の苦味を生かした 塩ラーメン開発ストーリー。

鷹羽屋×力の源ホールディングス×宗像市×福岡銀行(ふくおかフィナンシャルグループ)



そんな状況に数年前から気づき、甘夏の有効活用に情熱を注いでいたのが、宗像市で食品製造・販売業を営む「鷹羽屋」の濱田さん。縁あって大島の甘夏に携わるうちに、地元の人たちに長年愛され続けている甘夏の市場価値の低さや課題を知るようになった濱田さんは、注目を集めるような新商品に加工できないかと考え、事業パートナーの久保さんと共に甘夏メニューの試行錯誤を続けていました。当初取り組んでいたのは甘夏を使ったスイーツでしたが、あるとき濱田さんが、甘夏の苦味を生かすならば、お菓子ではない方が良いかもしれないと思

福岡を代表するグルメといえば豚骨ラーメン。その人気店として知られる「一風堂」の運営会社、力の源ホールディングスは、食育や食を通じた地域活性にも力を入れており、2024年から25年にかけて福岡県宗像市のとある特産品を取り入れたラーメンを開発しました。その食材とは、玄界灘に浮かぶ宗像市大島で昔から栽培されてきた「甘夏」。爽やかな酸味があり、独特の苦味を生かしたマーマレード作りも定番です。しかし、デザートのような甘さを求められる昨今の果物市場においては人気が伸び悩んでいるのが実情。甘夏農家の後継や存続も危ぶまれ、このままでは広大な耕作放棄地が生まれてしまうかもしれません。

品の方へ舵を切ろうとしていたところ、まさに渡りに船。力の源ホールディングスと協業を模索していた福岡銀行地域共創部が、「食で地域を創造する」をポリシーとする地元企業の鷹羽屋に着目し、2社を引き合させたのです。こうして、ラーメン開発のプロと、地元食材への愛情と知識をもつ鷹羽屋とがタッグを組み「甘夏を使ったラーメン」の開発が始まりました。

開発を担当したのは、力の源カンパニー商品開発グループでマネージャーを務める堺さん。「甘夏を使つた開発は初体験。難しいけれど、もともと柑橘とラーメンの相性は悪くないので、甘夏の苦味をあえて生かすステップを追求しました」と振り返ります。宗像大島の塩と宗像「マルヨシ醤油」の薄口醤油を、むなかた鶏のガラスープに合わせ、ドライ甘夏を程よく散らした「甘夏香る塩ラーメン」が完成しました。

第一回目の試食会ではとんこつラーメンに近い、白濁の鶏白湯スープも提案しましたが、最終的には澄んだ清湯（透き通つたスープ）の塩ラーメンに決定。麺は、スープがよく絡み、食感的にも塩ラーメンに合ううちぢれ麺を合わせました。さらに、トッピングのつみれやチャーシューもむなかた鶏を使った自家製。つみれの中には甘夏。ピールも練り込まれて

います。

最初のお披露目は9月、東京の一風堂浜松町スタンドでした。甘夏香る塩ラーメンをメインに、宗像産品を使ったコース料理を味わうイベントで提供したところ、美味しいと大好評。「あの一風堂が塩ラーメン、しかも甘夏入り!?」とファンの間でも話題になりました。

続いて10月には、地元の「道の駅むなかた」にキッチンカーを出店し1杯1,000円で販売したところ大好評。「開発して終わりではなく宗像市の名物グルメとしてさらに多くの人に味わっていただきたいですね」と鷹羽屋の濱田さんは意欲を燃やします。

「食のまち宗像」を掲げる宗像市も、地元特産品の開発を支援。費用の助成も行っています。鷹羽屋もこの支援を利用して、ラーメンのお土産品開発を進めており、クラウドファンディングも予定。そんな鷹羽屋を、福岡銀行宗像支店もサポート。地域で頑張る人とのつながりを大切にしながら、さまざまなかたちでの地域活性に関わつてまいります。

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取組んでいます

地方創生に関するお悩みをご相談ください。

- 観光振興 ■ 産業振興 ■ まちづくり
- 産学官金連携 ■ 地域資源活用 ■ 情報発信 など



写真：福岡銀行宗像支店

お問い合わせ

ふくおかファイナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
TEL: (092) 723-2254
MAIL: bankbaton0101@fukuoka-fg.com

記事の全編は
いちから

本記事は、bank batonに
掲載された内容のダイ
ジェスト版です。
記事の全編は以下のWEB
ページにてご覧いただけ
ます。



[https://www.fukuoka-fg.com/
bankbaton/story/17/](https://www.fukuoka-fg.com/bankbaton/story/17/)